



越郷の丘

大槌町立吉里吉里学園中学部

学校通信 No 2024 - 26

令和7年 3月21日発行

Tel : 44-2310 Fax : 44-2043

学校教育目標 『自立から自律へ』

目指す子どもの姿 「確かな学力」「豊かな人間性」「豊かな心と身体」「未来に生きる郷土愛」

☆旅立ち 感謝を胸に 吉里吉里学園第10回卒業式☆

3月13日(木)天候にも恵まれ、春の訪れを感じさせる暖かさの中、大槌町長 平野公三様をはじめ、ご来賓の方々のご臨席の下、吉里吉里学園第10回卒業式が行われました。卒業証書授与では、9年生一人ひとり、緊張した表情ではありましたが、式典にふさわしい立派な態度でした。校長式辞では、9年生が3年間頑張ってきたことや修学旅行でピンチを乗り越えることができたこと、最後には、「元気ですか～元気があれば何でもできる・・・」と励ましの言葉を述べていました。在校生代表の中村海輝人さんから、「送る言葉」として、9年生への感謝と9年生を目標に活動・文化を引き継ぐ決意が述べられました。卒業生代表の芳賀克さんからは3年間の思い出と仲間や家族、支えてくれた方への感謝などが述べられました。式歌では、合唱2曲「この地球のどこかで」「COSMOS」を感動の涙をこらえながらも最後まで歌い続けることができました。全校生徒27名が、気持ちのこもった感動的な式を作り上げてくれました。



送辞



答辞



式歌



☆ P T A ワカメ体験学習 地域の良さを知る ☆

3月8日（土）に予定されていたP T Aワカメ体験学習が、海の状況により、9日（日）延期になりました。9日（日）は晴天にも恵まれ、海の状況も良く、予定通り進めることができました。収穫船に乗船してのワカメ収穫作業、その作業を見守る見学船。沖から戻ってきてからは、ボイル・冷却作業、塩蔵するための袋に入れる作業、メカブ取り作業等、生徒たちは、一生懸命でした。今回、このように体験できたのは、漁師の倉本修一さん、東谷伸吾さん、漁協関係者、地域、保護者の方々のおかげです。皆様の協力があって実施できていることに感謝したいです。

ワカメ刈り取り作業



ワカメボイル・冷却作業



メカブ取り作業



3月11日（火）～ 14日（金）は、生徒、教職員、漁協婦人部、保護者の協力があり、芯裂き作業ができました。3月15日（土）は、ワカメ顧問である東谷伸吾さんの協力で、絞り作業ができました。運搬では、P T A役員のお父さん方に参加していただきました。3月16日（日）は、ほぐし作業を保護者の方々のおかげで、短時間で終わらせることができました。3月17日（月）～19日（水）は、生徒、教職員でワカメ製品（袋詰め）作業を行い、無事完成することができました。

<事務 佐々木真希子さん 大槌町立大槌学園へ転出>

1年間という短い期間でしたが、学校事務の仕事を効率的に進め、また、文書や経理事務は、正確で丁寧な仕事をしていただきました。仕事に対する一生懸命さは、文書等での丁寧さで、伝わってきました。1年間、大変お世話になりました。今後の佐々木さんの健康とご活躍をお祈りしております。

<大船渡市山林火災義援金> 3月4日～7日の4日間で義援金31,131円、集まりました。ご協力ありがとうございました。3月18日に吉里吉里学園中学部代表として、生徒会副会長芳賀みくさんが義援金を大槌町教育委員会松橋教育長に渡しました。（※義援金は、大槌町教育委員会から大船渡市教育委員会に送られます。）